

令和4年度（第15期第1回）小平市廃棄物減量等推進審議会 会議要録

1 日時

令和4年6月24日（金） 午後2時～4時

2 場所

小平市リサイクルセンター 2F 会議室

3 出席者

○小平市廃棄物減量等推進審議会委員 14名

山谷修作会長、渡辺浩平副会長、青野敬吾委員、浅野薫委員、出雲崎暁子委員、伊東恵美委員、太田佳子委員、岸野好江委員、木村源一委員、先山厚子委員、下條隆久委員、武田直子委員、丹治由紀子委員、林周子委員

（欠席）内藤新司委員、野口信一委員、山倉尚委員、吉浦高志委員

○事務局 7名

環境部長、資源循環課長、資源循環課長補佐、資源循環課推進担当係長、資源循環課管理担当2名、資源循環課推進担当1名

4 傍聴者

0名

5 諮問

「小平市一般廃棄物処理基本計画の策定について」

6 議題

(1) 小平市一般廃棄物処理基本計画の骨子案について

(2) その他

7 配布資料

第15期 廃棄物減量等推進審議会委員名簿

資料1

廃棄物減量等推進審議会 関連法規

資料2

「小平市一般廃棄物処理基本計画の策定について」（基本的事項）（答申）

資料3

小平市一般廃棄物処理基本計画（改訂）

資料4

令和3年度 小平市の環境（令和2年度実績）

資料5

第15期 廃棄物減量等推進審議会 スケジュール（予定）

資料6

（仮称）小平市第四次一般廃棄物処理基本計画策定の基本方針

資料7

（仮称）小平市第四次一般廃棄物処理基本計画 骨子案

資料8

ごみゼロフリーマーケット実施報告

資料9

8 内容

<会長・副会長互選>

各委員の承認を経て、山谷委員が会長、渡辺委員が副会長に互選された。

<諮問>

「小平市一般廃棄物処理基本計画の策定について」、環境部長より審議会へ諮問。
別紙「諮問書」参照

<議事>

(1) 小平市一般廃棄物処理基本計画の骨子案について

(事務局)

資料7、8について、次期小平市一般廃棄物処理基本計画の骨子案について説明。

(山谷会長)

処理ごみ量原単位は、資源を含まないごみ量の一人一日あたりの量になる。資源物を含む含まないにかかわらずごみ量という場合があり、小平市はこれをはっきりさせている。

(青野委員)

燃やすごみの中に資源物がかなり入っている。分別に手間はかかるが、細かく分別することによって、資源のリサイクルになる。プラスチック製容器包装の袋の金額は、燃やすごみの袋の金額の半額である。それと食品ロスの削減が重要となる、これは各個人個人が考えていかないといけない。

(山谷会長)

燃やすごみの中には、たしかに資源物が含まれている。紙、特に雑がみも多い。雑がみがリサイクルできるということを理解し、行動してもらう必要がある。

(武田委員)

分別はやっているが、プラと書いてあるものの中で、汚れている物の扱いが難しい。簡単に洗える物は洗っているが、油が付いている物や汚れのひどい物は、燃やすごみに入れている。また、そのままプラスチック製容器包装に入れてしまう人もいると考える。

(事務局)

きれいになったプラスチック製容器包装はプラスチック製容器包装の袋へ、そうでないものは燃やすごみとパンフレットでもお願いしている。ただ、どのくらいきれいにすればというのは、主観により異なってくる。第14期の審議会でも話題に上がったところである。

(先山委員)

クリーンメイトの方で、広報誌を出している。中間処理施設スリーハーモニーに行き、話を伺った。汚れているものは、使用済みのティッシュペーパーなどで拭き取る。不適物を仕分けする作業場の方から、匂いは抑えて欲しいとの要望がある。拭いて乾かせば、匂いは取れる。パンフレットの表現を拭き取って乾かすように変えられないか。パンフレットの中で啓発していくのがよい。袋の金額の違いについても、より周知していくべきと考える。

(事務局)

プラスチック製容器包装の袋の金額は他の半額になっていることについては、周知しきれていないところもあるので、今後検討していく。市報等の掲載についても、引き続き検討していく。

一方で、プラスチック製容器包装の袋にも不適物が入っている。こちらについても周知していく必要があると考える。

(渡辺副会長)

プラスチック製容器包装については、必ずしも増やしたいという意識ではないと考える。根本的にはプラスチック製容器包装は減らしていくというスタンスが必要。プラスチックは捨てるより、有効利用した方が環境負荷に対して、よいという結果が出ている。ただ、過剰包装等は避けて、可能な限り出さないことが重要と考える。お湯や洗剤で洗ってリサイクルした場合でも、捨てるよりは環境負荷は小さい。食器等を洗う際に一緒に洗うと、追加の洗剤等は限りなく少なく済む。環境負荷が小さくなる工夫をしていければと考える。

(木村委員)

市民が誰でも見られるように、どのくらいきれいにすればよいかについて、動画にすると理解しやすいと考える。

(先山委員)

リサイクルきゃらばんなどで公開するのもよい。また、実際に展示を行うことで、それを市民が見て、より理解が深まると考える。

(事務局)

リサイクルきゃらばん等で実施していくことも検討していく。

(浅野委員)

骨子案の第3章の2の(4)の適正処理の維持・向上とは具体的に何を示すのか。

(事務局)

収集した資源とごみを安心・安全・安定を保ちながら、収集、運搬及び処理を示す。具体的には、出された資源とごみの収集から、小平・村山・大和衛生組合での処理を適正に実施していくことになる。

(山谷会長)

循環型社会推進基本法に基本的な方針に基づき、3Rとその後の適正処理という形で整理をしていて、それに準じている。

(渡辺副会長)

まず、体系的なところだが、基本計画は家庭系一般廃棄物に対する取組が多いと考えるが、事業系一般廃棄物も範疇になってくる。市が収集している小規模事業系廃棄物は組成調査を実施しているが、それよりも量が多いと考えられる許可業者の大規模事業系廃棄物に対して何か行っているのか。また、事業者向けのアンケートは実施しているのか。食品廃棄についても、事業者から多量に排出されているため、調査の必要があると考える。骨子案にある計

画の位置づけになるが、ここには減量の努力から収集、中間処理、最終処分まですべて記載があるが、市が直接関係するのは、減量の呼びかけと収集等と考えるが、小平・村山・大和衛生組合や東京たま広域資源循環組合等の関係する団体や東京都等の計画との整合性についても整理し記載する必要がある。また、市から関係する団体への働きかけの実施や、その逆の対応もあればと考える。

(事務局)

市で収集した事業系廃棄物については、組成分析を初めて行った。今後、継続して研究をしていく必要がある。大規模事業系廃棄物排出者には、第14期審議会でも答申があったとおり、処理手数料を適正な金額とした上で、計画にも含める必要があると考える。小平・村山・大和衛生組合でも計画を策定しており、ごみ量推計等で連携を実施している。

(渡辺副会長)

大規模事業系廃棄物排出者については、実態把握に努める必要がある。処理手数料を上げた場合、どのくらいごみが減るかは、実態を把握していないとわからない。生ごみや食品廃棄物がどのくらい含まれていて、手数料がどのくらいの金額になると、リサイクルに流れるか予想が可能である。小平・村山・大和衛生組合等の計画等も示されると、基本計画との関連性も理解がしやすい。

(山谷会長)

小平市では、1日10キログラム未満の事業者は市の指定収集袋を用いて排出する。それ以上の事業者は許可業者と契約をして排出をすることになる。事業者用の袋がある自治体は多くはないが、多摩地域ではよく採用されている。一定規模以上の大規模事業系廃棄物排出者には、排出計画等の資料を提出することが条例で義務付けられている。排出者指導をきめ細かく行っていく必要がある。処理手数料を引き上げれば、資源化ルートの方が安くなり、資源化が推進される。また、ほとんど変わらない場合でも、企業イメージの向上につながる可能性がある。社員も誇りを持てる。SDGsにおいても貢献できる。

(渡辺副会長)

そのためには、市内の事業者の意識調査も必要になると考える。

(事務局)

事業系手数料については、現在、改定を進めている。進捗については、審議会に随時報告していく。

(丹治委員)

第7章の災害廃棄物になるが、想定外だったという報道がたくさんある。ボランティアに頼らざるを得ないケースも多い。骨子案にある、災害廃棄物対策に関する教育訓練や人材育成について、対象はどういったところになるのか。もちろん、市民の意識も必要になってくると考える。また、どの程度の災害を想定しているのか。

(事務局)

現行の基本計画に含まれている災害廃棄物処理計画では、まず災害が発生すると小平市災害対策本部が立ち上がる。その中で、国や都と連携を取りながら対応に当たることになる。

規模については、防災危機管理課とも連携し想定していく事となる。

(渡辺副会長)

想定しうる最大規模の災害に対応ということが多いと思うが、それ以下の規模の対応等も盛り込まれるとよい。

(事務局)

都の方で多摩直下型地震と立川断層帯地震が想定され、小平の場合、災害廃棄物量はそれぞれ 62 万トン、63 万トンとなるが、このことについて最近 10 年ぶりに被害想定に見直しがあった。これについても研究しながら、今後規模について検討していく。

<その他>

(事務局)

資料 9 について、説明。

(渡辺副会長)

細かいところになるが、ビニール袋ではなく、プラスチック袋が正しい。